

日 時 平成20年5月11日午前11時49分キックオフ（晴れ）

会 場 生目の杜運動公園多目的グラウンド（人工芝）

相 手 アルバトゥ

結 果 4-2（3-1、1-1）

得点者 黒田2、藤田、越智

内 容 「今季初勝利！」

今回はリーグ第2戦。開幕戦は惜しい敗戦であったが、出来ればこちら辺で早めに1勝したいところ。今回の相手は昨季1部で3位の強豪のアルバトゥ。2年前のリーグ戦で1度対戦し1-2で負けているが、残留が決まった後の試合でもあり余り参考にはならない。当然フェニックス（平均年齢36.7才）よりも若いチーム。FWに一人うまい選手（10番）がおり、MF20番と併せてマークを厳しくするよう確認した。

フェニックスのメンバーは少なめの13人。新加入の越智を右MFに据えた。日高コーチからは、

- ①ファーストディフェンスは、一番ボールに近い選手がチェックに行き、相手から無理にボールを奪おうとせず、フォローの選手に任せること、
- ②FWは左右にも開き、2列目の攻撃を引き出すこと、
- ③前半は無失点で終える

よう指示があった。なお、GK谷之木は、シニアの試合を隣のコートで出場直後の合流となった。天候は晴れ。しかし風が強く、ディフェンスは特に注意が必要であった。

前半立ち上がりは五分五分の展開。2分過ぎ、フェニックスのディフェンスライン裏をあつさり取られ相手FWが抜け出すも、谷之木がエリア外へ飛び出しチェックに行き、イエローカードをもらうも、ことなきを得た。

そして迎えた4分、右サイドでパスを受けた藤田からのスルーパスから相手DFラインの裏へ抜け出した黒田が、ドリブルで持ち込みそのままシュート！これが決まり、1-0。立ち上がりの不安定な時間帯を無失点で切り抜けて、いいムードで戦うことができる状況になった。

その後も、逆サイドへの確実な展開からのクロスや、各自の粘り強いディフェンスで、相手を押し込む時間帯が続いた。そして13分、エリア内でパスを受けた黒田が確実にゴールに蹴り込み、2-0。予想外の有利な展開となった。

しかし、油断があったのか16分、相手FWの左からのクロスが風で流され、そのままゴールへ吸い込まれ、2-1となった。しかし、流れが変わるまでには至らず、その後もフェニックスのペースで試合が進んだ。

そして迎えた終了間際の30分、赤野が左から相手DFラインとGKの間に出したクロスに、藤田がすばやく反応し、ワンタッチでゴールに流し込み、これで3-1。

ぐっと楽な展開になった。黒田はシュート2本で2得点の驚異的な決定力。やはり生後5ヶ月の裕紀くん（ジュニア）の応援の影響が大であった模様。このまま前半終了。

前半は、風上を生かした攻撃や、相手FW 10番が時折光るプレーを見せるも、久保の荒技「気迫の喉トラップ」を中心に？応戦するなど、押し気味に戦うことができた。

風下になった後半、相手は予想通りフェニックスディフェンスラインの裏へロングボールを入れて来たが、チャンスは作らせず、逆に細かいパスワークで応戦し後半も押し気味の展開となった。時折サイドを突破されセンタリングを上げられるも、粘り強いディフェンスで相手FWに自由にプレーさせず得点までは許さない。

ところが、後半9分、右サイドを突破され、グラウンダーのセンタリングが相手FWに通り、ディフェンスもあっさり交わされ中央から2点目を奪われた。これで2-3。相手は一気に勢いづき、逆にフェニックスは1点のリードが無いくらい苦しい雰囲気となった。しかし、13分、細かいパス回しから藤田が抜け出し、短い折り返しを走り込んだ越智が思い切り良くダイレクトでゴールへ流し込みだめ押しの4点目をゲット。これで、4-2となり相手のモチベーションも下がり、楽な展開となった。以降は野田、稲用を投入しディフェンスを整えつつ、相変わらずのパスワークで相手にペースを握らせず、危なげなく逃げ切って今季初勝利を手にした。

今回の試合は、苦手な立ち上がりが無失点で乗り切り、風上の前半に調子良く点を取れた貯金が大きかったと思われます。守備陣は後半若干息切れの感がありましたが、若手主体の相手に対し、常に数的優位を保って気迫で対応できました。苦手のセットプレーも、コーナーキックから赤野のドンピシャヘッドを藤田がクリア？するなど、今後点が入りそうな予感がします。また、ドリブル突破から再三チャンスを作るものの、バーに嫌われるなど打てども打てども決めきれなかった緒方の次節の奮起（目覚めの初得点）が期待されます。次節もこの調子でフェニックスらしい戦いが出来れば良い試合になると思われます。

<先発>

FW（黒田、藤田）

MF（緒方、赤野、渡部、越智）

DF（工藤、久保野、三井、久保）

GK（谷之木）

<交代>

DF（野田） 後半15分（久保に代わって出場）

DF（稲用） 後半20分（黒田に代わって出場）

監督等 日高、高妻

応援 黒田真紀・黒田裕紀（二世）